



【資料】

## 「DXに向けた取り組み」



**Hino Global Logistics, Ltd.**

日野グローバルロジスティクス株式会社



1. デジタル人材育成状況と2025年度予定
2. DX達成度の指標
3. 事例紹介
  - ① 自衛消防点呼アプリ
  - ② 車両在庫可視化「みえるくん」
  - ③ 補給部品在庫可視化「みえるくん」
  - ④ 安全モーションボード
  - ⑤ 2024年物流課題に対応した「車両入退場管理システム」プレスリリース  
<https://hgl-hino.co.jp/202511/1143/>



# デジタル人材育成状況と 2025年度予定

## 2024年度振り返り

- **みんなでデジタル活動(Power Platform活用)**  
約20名受講・技術習得、各自の業務をデジタル化。
- **生成AI活動**  
約250名受講・活用。
- **紙レス活動**  
汎用ツールや仕入先様との紙のやりとりをWeb化。
- **可視化活動**  
車両完成車在庫「みえる君」導入・活用。

## 2025年度取り組み

- **みんなでデジタル活動**  
引き続き昨年同様活動実施(+20名)。3年後はスタッフの5~7割目指す。加えて、データ分析・可視化ツール(PowerBI)も講習予定。
- **生成AI活動**  
活用幅を広げ、社内情報の問い合わせ、ベテランのノウハウ継承の一助に。
- **紙レス活動**  
仕入先様とのコミュニケーションプラットフォームをWebで構築。
- **可視化活動**  
補給部品在庫「みえる君」導入・活用。  
海外向け車両ステータスの可視化システム導入。
- **業務AI活動**  
現場各工程の仕事量可視化と応受援の自動化を推進。

# DX達成度の指標



## ① DX推進の指標

DX戦略のステップ		現状	3年以内
1	アナログからデジタル化 (みんなデジ活動)	<ul style="list-style-type: none"> <li>PowerPlatformの技術習得 40名実施 市民開発アプリ25本、削減工数 400h/年</li> </ul>	<p>「IT専門家に頼らず、自分で業務を楽にする」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>60~80名に拡大</li> <li>市民開発アプリ 200本、削減工数 6,000h/年</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>生成AI教育 200名に実施</li> </ul>	<p>「生成AIを“特別な人の技術”ではなく、“全員の仕事道具”にする」 ＜生成AI活用度向上による時間削減効果＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1人あたり 月30~60分削減 (全体で 2,000~4,000h/年削減)</li> </ul>
2	データ活用推進活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>PowerBIの活用開始、意思決定迅速化 及び業務効率化に一部業務で開始</li> </ul>	<p>「経験・勘・属人化から、 データに基づく共通認識と判断へ転換」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>PowerBIの活用拡大(8名→20名)、 月次判断 → 週次/日次判断</li> <li>意思決定スピード向上:従来比 ▲30~50%短縮</li> </ul>
3	お客様・社会貢献活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>GPSを活用した車両入退場システムを導入 工場の入退場時間、荷役時間の自動計測を 開始(ドライバーの負担低減)</li> </ul>	<p>「自社の枠を超えた社会的課題解決 (ドライバー不足)への貢献」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日野自動車グループ会社への導入(5社)</li> <li>他自動車メーカーおよび他産業会社への システム提案 (国土交通省/日本自動車工業会等との連携)</li> </ul>

## ② サイバーセキュリティ対策の実施率

トヨタグループガイドライン+自工会ガイドライン100%遵守継続

～5つの事例の紹介～

# 事例紹介



## アナログ作業のデジタル化 みんなでデジタル活動

データ収集・集計アプリ開発

# 自衛消防点呼アプリ

### アプリ概要

災害など有事の際に、避難者の避難状況を迅速に把握・共有できるアプリ。

### 主な内容

避難訓練の際、電話や手作業で行っていた点呼作業を見直し、アプリを開発してデジタル化を実現。アプリを通じて確認・報告作業を効率化、作業の迅速化と正確性の向上を図った。

### 効果

避難所要時間を約5分短縮。点呼・集計時の混乱軽減。  
迅速な消防活動にも効果あり。



自衛消防点呼アプリ  
画面

## 業務の可視化～迅速な意思決定

### データ活用推進活動

データ収集・集計アプリ開発

# 車両在庫可視化アプリ 「みえるくん」

車両在庫可視化アプリ  
「みえるくん」画面

### アプリ概要

まだ、お客様に納車されていない完成車の情報(車両型式、車番、車両価格、在庫の滞留期間、販売会社情報etc..)より、情報をモーションボードというダッシュボードツールを使い、完成車の台数、完成車の在庫金額、販社別の台数を統合、可視化する。

### 効果

データによる意思決定の迅速化(在庫の最適化及びキャッシュフロー改善)を実現する



## 業務の可視化～迅速な意思決定

### データ活用推進活動

データ収集・集計アプリ開発

# 補給部品在庫可視化アプリ 「みえるくん」

補給部品在庫可視化アプリ  
「みえるくん」画面

#### アプリ概要

在庫情報(品番、数量、価格、在庫開始時期、滞留期間等)から、Power BI というダッシュボードツールを使い、補給部品\*の数量と在庫金額等を多角的に可視化する。

\*…HGLでは、世界中で稼働している日野自動車のトラック・バスの補給部品(一般修理、補修部品)を管理しています。

#### 効果

データによる意思決定の迅速化(在庫の最適化及びキャッシュフロー改善)を実現する



業務の可視化～迅速な意思決定

データ活用推進活動

# 安全モーションボード

## アプリ概要

日野グループの災害速報を入力し、傷害部位、時間帯、災害の型など傾向を見える化している。

## 効果

職場の安全活動に活用し、災害予防活動を支援。



安全モーションボード  
画面

## 新たな価値創造

## お客様・社会貢献活動

共創プロジェクト

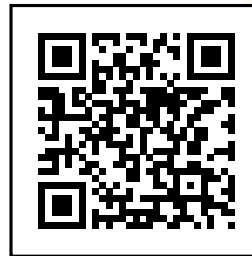
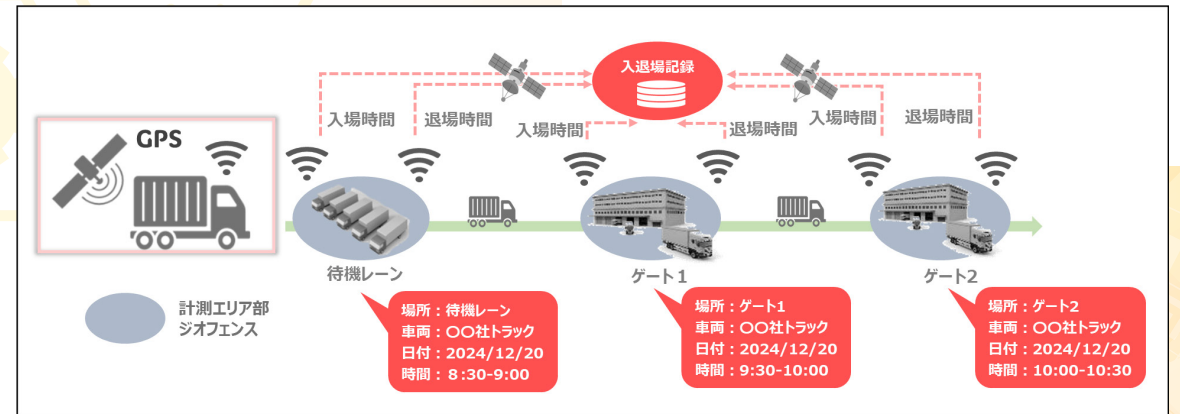
# 入退場管理システム

### アプリ概要

日野グローバルロジスティクスは「物流の2024年問題」への対応とおお客様のビジネスの効率化に貢献。その一つとして、トラックの荷待/荷役作業時間を短縮するため、入退場管理システムを構築。

### 効果

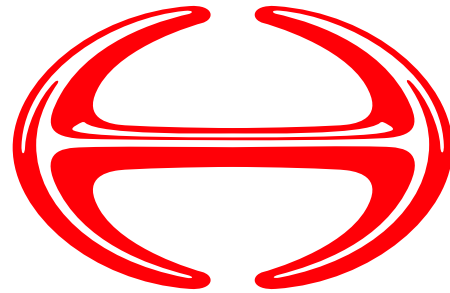
入出庫時間を高精度で自動取得し、ドライバーの手間なく把握することが可能に。



ニュースリリース

<https://hgl-hino.co.jp/202511/1143/>





**HINO**

人、そして物の移動を支え、豊かで住みよい世界と未来に貢献する



コンプライアンスを徹底し、  
誠実に行動します



安全・環境にこだわり、  
未来の社会を支えます  
品質・プロフェッショナルにこだわり、  
お客様の事業を支えます



互いを尊重し、  
安全安心な職場をつくります